

【九月】お題「布」・「顔の一部を詠み込む」

(今年度、お題「政宗公まつり」は別企画で選歌し発表します)

月間賞

麻布に米つめながら笑ってた祖母の姿と黄金の海

三―三 氏家 鉄朗



第二席

ブラウスに金木犀の香がうつり君の瞳も橙に染む

三―二 穴戸 暖奈

野の道で一匹のバツタ目で追えば瞳に映る秋色田んぼ

三―二 佐藤 優希

キラキラと輝く波が映り込む瞳の中の海水浴場

三―二 須藤 雄人

第三席

大会で点数決めて笑顔咲くガッツポーズに口角上がる

二―一 高橋 佳凜

優良賞

小さい頃大好きだったバスタオル昔も今も変わらぬ思い

三―一 大久保玲良

夕方にトコトコ歩き会場へ音響かせたテナーサククス

一―三 伊藤 綺畝

目を見ればうそか本当か分かるんだ僕は君を信じているよ

一―三 佐々木涼花

佳作

古いけど汗も涙も知っている僕に馴染んだ思い出タオル

三―一 阿部 壮馬

ひらひらと飛ぶハンカチが泥着水神よそれが運命なのか

三―三 櫻田 里実

風入りカーテンのすそめくれては風の匂いに心が躍った

二―二 金子 愛弓

横顔が夕日に照らされ茜色君の瞳が僕をうつして

二―二 佐々木愛梨

入選

口の下あごひげたちが生えてくる毎日剃るも剃りきれない。

三―二 澤田 慶

透き通る黒の瞳に映る自分見つめられると自分が見える

一―三 鈴木 七海

帰り道みんなで食べたかき氷色とりどりの下の七変化

一―三 遊佐 茉星

